

# 今日も「一丁あがり」

第35話

「こじで動かなくて、いつ動く!」の巻



皆さん、こんにちは! 毎日布団を干して快眠続きのロブストス高垣でございます。今回は台風19号が直撃している最中に書いています。まだ暴風域に入っていないのに風で家はきしみ、激しく雨が振り続けていても不安です。同時に仲良し農家のオヤジのキャベツ畑は大丈夫だろうかと気になっています。

思い浮かんだのは、「9月上旬を逃したらウチは終わり」と、天候が悪く作業が進められないなかで、近所の農家仲間大集合でキャベツを定植していた姿です。その時期に些細な誤解からオヤジと喧嘩してしまつて……定植後に一緒に酒飲んで仲直りして……そんなセンチメンタルな9月を過ごしたので、余計に心配になります。そのオヤジは「安定した環境で仕事できる工業が羨ましい。気象リスクと資材価格が上がる一方で、野菜の価格は上がらないんだ」とよく嘆きます。台風が来れば建屋が壊され、雹が降れば野菜に穴が空

き、大雪が降ればハウスが潰れる。いままさに窓から見える台風の猛威を前にして、農林水産業の怖さを感じています。にも関わらず、先日の台風15号で大きな被害を受けた千葉の農家さんたちが当たり前のように仕事を再開していく逞しさに感動しました。農家さんとのコミュニケーションが密になるにつれて、僕は「農業」を理解し始めた気がします。というところで、今回は台風15号に関するお仕事をご紹介します!

## 台風被害の復旧の役に立ちたい

笑顔がよく似合う千葉県我孫子市の米農家N野さんから「台風で粉殻タンクが倒されて開閉シャッターが破損した。メーカーから新品は買えるけど、純正品はスムーズに動かなくて疲れる。軽



写真1: 台風で倒された粉殻タンク



写真2: 破損してしまった粉殻タンクのシャッター (純正品)

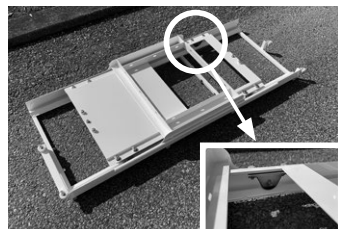


写真3: 超特急で製作した開閉シャッター。シャッターとワイヤーの動きを軽く滑らかにすること重視し、ハウス内作業ではお馴染みの戸車とアングルのレール構造に

い力で開閉できるシャッターが作れない?」と。千葉の被災状況をSNSで見っていた矢先の相談で、なんとか力になりたいと思いました。なんとか力になりたいけれど、ロブストスの現状は依頼が山積みで、新規依頼をストップしようと社内会議で決めた直後。納期は2週間しかありません。過去に粉殻タンクの開閉シャッターを製作した経験もありません。感情だけで引き受けて、満足してもらえないものが作れず迷惑をかけることは避けたい。でも、被災を機に作業負担を軽減する工夫を前向きに模索する姿を見過ごすことはで



高垣達郎 (たかがき・たつろう) 1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロブストス代表取締役社長。

きない。断りかけながら現場で考え込んで出した僕の答えは、「なんとかします!」。

アングル材をレールにして戸車でシャッターを転がす構造で、フレームはアングル材と角パイプをメインで使って板金加工を最小限にすれば、納期もコストも抑えられるはず。設計を進めていけば、細部にこだわりたい。ワイヤーを滑らす滑車は純正より良いものを多めに配置して、バチッと塗装を仕上げよう。一丁あがり! N野さんから「これまで力いっぱい引っ張っていたのにスッと動くようになった! 片手でフレコンを揺らしながら軽く閉められるからいいね」と嬉しい感想が届いて、マジでテンション上がりました!!

なお、部分的な寸法のミスを現場で穴あけしてフォローしてもらったことは内緒です(汗)。ということ。今月も一丁あがり!」